

「地域を支える建設業」検討会議

第48回全体会議

分科会資料

① 維持管理・危機管理 分科会 資料No.1

② 施工・品質確保 分科会 資料No.2

第41回維持管理・危機管理分科会 報告(概要)

資料No 1

- 1 開催日時 : 令和5年3月13日(月) 13:15~14:45
- 2 開催場所 : 長建ビル会議室
- 3 報告事項及び打合せ事項について (アンダーライン部分は協会からの意見・要望等)

■ 県からの説明事項

(1) 今冬の大雪時の交通確保対応について

大雪時の対応方針に基づき、今冬に実施した次の2回の対応について、大雪の発生状況、主な通行止め状況、対応結果について説明があった。

① 1月24日～25日の大雪と通行止めの状況

② 2月10日～11日の大雪と通行止めの状況

・事前通行止めを実施する場合は、事前の広報が重要である。

・国道148号を通行止めにする場合は、除雪時に一般車を一時待避させる場所が少ないと感じる。

(2) 令和5年度小規模維持補修工事の民間委託の実施箇所について

県下97工区中、令和5年度の除雪一体型は24工区で、令和4度より2工区増、包括民間委託は29工区で、令和4度より6工区増となる見込み。

(3) 令和4年度大規模地震時の道路パトロール訓練の実施状況について

現地機関の各建設事務所の実施状況について説明があり、訓練を実施して把握できた課題等について、各建設事務所で取りまとめた結果の配布があった。

(県) 令和5年度も継続して訓練を実施していく予定のため、県協会の協力をお願いしたい。

(4) 災害復旧工事における点在箇所の合冊化に係る課題検討について

・協会や支部から要望いただいている、災害復旧における点在箇所をまとめた工事で、設計・積算が現地の条件と合っておらず赤字が多かった件について、実際に施工して赤字が出た企業の協力が得られることになったため、今後関係者を集めて意見交換の場を設けるので、ご協力をお願いしたい。

(5) 小規模維持補修工事における休日作業の労務単価について

・協会から要望いただいている、小規模維持補修工事における休日の取扱いについて、4月1日から法定外休日と年末年始を休日扱いとする旨の通知を発注機関にしました。

■ 協会からの質問事項

(1) 除雪機械等の暖機・冷機の取り扱いについて

前回の分科会での要望に対し、県の検討状況について回答をお願いしたい。

(県の回答)

・他県においては、暖機運転、冷機運転を別途計上しているケースがあることを確認したが、長野県の積算では、共通仮設費の準備費(率計算)に含まれると考えている。

(アンダーライン部分は協会からの意見等)

1 開催日時：令和5年3月20日（月）9:30～10:30

2 開催方法：Web会議（Zoom利用）

3 議事

(1) 災害復旧工事における点在工事について

○（技術管理室）第46回全体会議の議題としても提出され、具体的な調査を行いたいとしていたが、令和5年4～6月にかけて、発注者、施工者、設計者で実施の災害復旧現場をモデルケースとして、課題把握と意見交換を実施したい。まずは神稲建設㈱施工の災害復旧工事の現場をモデルとして実施してみて、その結果を基にその後の対応を検討したい。

(2) 誰もが働きやすい現場環境づくりについて

○（技術管理室）本年度県と女性部会とともに、上小と大北管内でそれぞれ現場点検を実施し、女性や若手技術者の視点で現場の環境改善の課題や改善点を検討した。次年度以降は、試行要領に基づきモデル工事の検証を行っていきたい。

(3) コンクリートの品質確保について

○（技術管理室）協会や技士会、女性部会からも意見のあったコンクリート品質管理方法について、令和5年4月1日より次の2点について改訂したい。

①圧縮強度試験・・・県独自のルールを廃止し、国と同様の扱いとする。

②小規模工種・・・総使用量10m³未満のコンクリートブロック積(張)工を対象とする。

(4) その他技術的諸課題等について

① 書類の簡素化について

○（技術管理室）これまでも一定程度簡素化を進めてきたが、若手技術者や女性技術者からは更なる取組を求められています。今後、CCUSやコブリスなど各種電子データの活用や、国市町村を含めた様式の統一などについて、若手や現場に近い人たちの意見を聞きながら検討を進めたい。

② 建設資材（生コン）の価格改定情報について

○（技術管理室）昨年4月に引き続き今年4月にも生コン価格が改定される見込みである。

今回も昨年同様、迅速な価格改定となるよう対応する予定であるが、新価格により販売され支払いが済んだ取引状況を総合的に判断して改定していることをご理解願いたい。

○（協会）出来るだけ早く改定していただけようお願いしたい。又、碎石についても価格が上昇してきている。

③ 優良技術者表彰について

○（技術管理室）第48回全体会議でも議題予定ですが、10ブロックの受賞者数の推移を見ると、前回多かった長野地区は今回減少し、年によって増えたり減ったりしていく固定化している状況ではない。竣工書類には反映されない苦労をした現場の評価や補修工事の評定点が取りにくいことなどについては、今後も関係者と意見交換を続けて参りたい。

④ 建設キャリアアップシステム登録状況について

○（協会）令和4年12月末での登録状況は295社で協会員の59%となった。（全国平均43%）